
日本科学哲学会

第44回(2011年)大会

期日：11月19日(土)・20日(日)

場所：日本大学文理学部

所在地：〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

交通案内：新宿駅から京王線各駅停車 12分乗車、「下高井戸駅」下車、徒歩8分

大会参加費：1,000円(非会員の方でもご参加いただけます)

11月19日(土)

研究発表 (A会場は9:30-12:30、B-D会場は10:00-12:30)

《A会場》 司会：1-3 野矢 茂樹 (東京大学)、4-6 飯田 隆 (日本大学)

1. 池田 さつき (千葉大学) G. Evans は量化文の意味論への Fregean アプローチを通じて何を同定したか。
2. 林 晃 紀 (慶應義塾大学) カントとヴィトゲンシュタインの「規則にしたがうこと」
3. 荒磯 敏 文 (日本大学・日本学術振興会) 指示と出来事
4. 石田 恵 理 (お茶の水女子大学) ウィトゲンシュタインの「世界像」の命題について
5. 中山 康 雄 (大阪大学) 示すことの哲学的分析
6. 榊 原 英 輔 (国立精神・神経医療研究センター) 意味の良さについて

《B会場》 司会：1-3 柏端 達也 (慶應義塾大学)、4-5 横山輝雄 (南山大学)

1. 太田 雅 子 (お茶の水女子大学) ネガティブな自己欺瞞の動機と役割
2. 西堤 優 (東京大学・日本学術振興会) 認識的アクラシアと欲求
3. 古谷 公 彦 ((財)大島社会文化研究所) 仮想次元の導入による心脳問題解明への試み
4. 松井 祥 子 (東京大学) 顔面移植とアイデンティティー —近年の人格の同一性議論に注目して—
5. 小谷 俊 博 (筑波大学) 脳神経科学は道徳について何を語るか —P. S. Churchland のアプローチを手がかりに—
平 理一郎 (東京大学)

《C会場》 司会：1-2 伊藤 邦武 (京都大学)、3-5 三浦 俊彦 (和洋女子大学)

1. 尾形 まり花 (千葉大学) クワインの「自然種概念」とパトナムの「自然種語の意味」
2. 石田 知 子 (慶應義塾大学・日本学術振興会) 自然主義的認識論における「最もあり得る原因への推論」の役割について
3. 北村 直 彰 (慶應義塾大学) 形而上学的一元論の擁護可能性について
4. 山口 尚 (京都大学) 自然法則が存在しないことについて
5. 佐藤 邦 政 (日本大学) 世界の存在、その根拠、および、両者の関係について

《D会場》 司会：1-3 金子 洋之 (専修大学)、4-5 竹内 泉 (産業技術総合研究所)

1. 矢田部 俊 介 (産業技術総合研究所) 余帰納的言語と真理の度合理論
2. 秋吉 亮 太 (慶應義塾大学) Ω 規則の拡張について
3. 高橋 優 太 (慶應義塾大学) ゲンツェンと自然数論の命題の意味
4. 佐野 勝 彦 (北陸先端科学技術大学院大学) 余代数様相論理の多次元積
5. 細川 雄一郎 (首都大学東京) クリプキ構造の動的解釈による現代的受容

理事会・評議員会・大会実行委員会 (12:30-13:30)

総会 (13:30-14:15 総会后、石本賞授与式を行います)

ワークショップ (14:15-16:30)

《A会場》

I. 生命現象は物理学や化学で説明し尽くされるか

オーガナイザ：田中 泉史 (慶應義塾大学・日本学術振興会)

提題者：佐藤 直樹 (東京大学)、横尾 剛 (慶應義塾大学)、森元 良太 (慶應義塾大学・日本学術振興会)

《B会場》

II. 自然言語の意味論とその周辺—言語哲学との関係を中心にして

オーガナイザ・提題者：松阪 陽一 (首都大学東京)

提題者：藤川 直也 (首都大学東京・日本学術振興会)、峯島 宏次 (慶應義塾大学)

特別講演 (16:45-17:45)

講演者 : 戸田 誠之助 (日本大学)

講演題目: 計算量理論とは何か

—「実際の計算不可能性」を求めて—

司会 : 丹治 信春 (日本大学)

懇親会 (18:00-20:00)

会費: 一般 4,000 円 学生もしくは求職中の研究者 2,000 円

会場: カフェテリア・チェリー

11月20日(日)

ワークショップ (9:30-11:45)

《A会場》

Ⅲ. 記憶とは何か: 記憶概念の再検討

オーガナイザ・提題者: 河野 哲也 (立教大学)

提題者: 森 直久 (札幌学院大学)、中澤 栄輔 (東京大学)

《B会場》

Ⅳ. 論理と確率

オーガナイザ・提題者: 岡本 賢吾 (首都大学東京)

提題者: 竹内 泉 (産業技術総合研究所)、久保田 貴大 (東京大学)

理事会・編集委員会・大会実行委員会 (11:45-12:45)

研究発表 (13:00-15:00)

《A会場》 司会: 1-2 伊勢田 哲治 (京都大学)、3-4 鬼界 彰夫 (筑波大学)

1. 真 船 え り (日本大学) ヒュームにおける間接情念と道徳感情
2. 中 尾 央 (名古屋大学) 罰の進化
3. Iván Darío González Cabrera (東京大学) A non-nativist account of morality
4. Lajos BRONS (日本大学) Concepts and/in Thought

《B会場》 司会: 1-2 斎藤 浩文 (滋賀大学)、3-4 松阪 陽一 (首都大学東京)

1. 池 田 真 治 (ソルボンヌ大学) ライプニッツとゲーデルの「概念の論理学」
2. 高 尾 克 也 (京都大学) Bertrand's paradox は論理説にとって致命的か
3. 伊 藤 謙 佑 (同志社大学) 真理条件の存在論的分析
4. 鈴 木 聡 (駒沢大学) 丁度可知差異に基づく曖昧述語論理の確率論的モデル

《C会場》 司会: 1-2 永井 均 (日本大学)、3-4 美濃 正 (大阪市立大学)

1. 菅 原 裕 輝 (名古屋大学) 二重視覚システム仮説とアクションリズム
2. 源 河 亨 (慶應義塾大学) 聴覚的装置を介した出来事の知覚について
3. 新 川 拓 哉 (北海道大学) 知覚経験の選言説とはどのような立場なのか
4. 西 村 純 デファクト・スタンダードとカスタマイズの生命哲学

《D会場》 司会: 1-2 中山 康雄 (大阪大学)、3-4 岡本 賢吾 (首都大学東京)

1. 福 田 敦 史 (慶應義塾大学) リアルではないことを帰属する能力—想起に時間性はどこまで本質的か
2. 北 村 哲 紀 (首都大学東京) 時間論理における時点指示の役割
3. 杉 尾 一 (慶應義塾大学) 時間対称化された量子力学は実在を救えるか
4. 三 富 照 久 (中央大学) 大森荘蔵氏の死物概念についての科学史的再考察

シンポジウム (15:15-17:45)

「地球惑星科学の哲学」

司会・提題者: 青木 滋之 (会津大学)

提題者: 戸田山 和久 (名古屋大学)、熊澤 峰夫 (名古屋大学)、渡邊 誠一郎 (名古屋大学)、吉田 茂生 (九州大学)

日本科学哲学会第 44 回大会サテライトイベント

論理学と数学の哲学に関する研究会

期日：2011 年 11 月 21 日（月）9:30-16:15

場所：星陵会館

所在地：〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-2

交通案内：地下鉄有楽町線・半蔵門線永田町駅下車、6 番出口より徒歩 3 分

参加無料、事前予約不要

オーガナイザ：矢田部 俊介（産業技術総合研究所）、大西 琢朗（京都大学）

1：曖昧性

提題者：岡本 賢吾（首都大学東京）、伊勢田 哲治（京都大学）、矢田部 俊介（産業技術総合研究所）

2：プリースト「存在しないものに向かって」翻訳刊行記念

提題者：藤川 直也（首都大学東京・日本学術振興会）、久木田 水生（京都大学）

プログラムについての詳細は下記 URL をご参照ください。

http://researchmap.jp/joeluyy5c-21098/#_21098

『科学哲学』バックナンバー

4 (1971 年)	23 科学哲学の未来を問う	37-1 (2004 年)
5 (1972 年)	24 異文化理解の基礎	37-2 時間の実在性
6 (1973 年)	28 カオスをめぐって	38-1 (2005 年)
7 記号・情報・論理	29 特集 1 デュエムの科学哲学の現代的意義	38-2 フレーゲの現代性
8 行為の理論	特集 2 サイバネティクス	39-1 (2006 年)
9 様相論理学	30 近代における科学と哲学	39-2 相対性理論 100 年
10 心身問題と道徳	31-1 (1998 年)	40-1 (2007 年)
11 解釈とモデル	31-2 生物学的説明	40-2 数学の論理と哲学
12 言語と非言語	32-1 (1999 年)	41-1 (2008 年)
13 社会科学と哲学の間	32-2 医療の哲学に向けて	41-2 非合理性とは何か
14 論理とは何か	33-1 (2000 年)	42-1 (2009 年)
15 科学哲学の展望	33-2 心・生命・コンピュータ	42-2 脳科学と社会
17 合理性とは何か	34-1 (2001 年)	43-1 (2010 年)
18 志向性について	34-2 進化論から見た心と社会	43-2 科学コミュニケーション
19 言語理解	35-1 (2002 年)	44-1 (2011 年)
20 意識・機械・自然	35-2 クワインの哲学—回顧と展望	
21 〈私〉の同一性	36-1 (2003 年)	
22 科学と反—実在論	36-2 ラッセルのパラドックス・100 年	

購入を希望される方は、事務局までご連絡ください（1～3、16、25～27 号は在庫切れです）。

下記のアドレスからインターネット上で公開されているバックナンバーが閲覧できます。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jpssj/-char/ja>

●入会を希望される方は日本科学哲学会事務局までご連絡ください。

所在地：〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40 日本大学文理学部哲学研究室内

FAX：03-5317-9217

e-mail：philsci@chs.nihon-u.ac.jp